

Bank of Japan Toyama Local Office



富山県金融経済クォーターリー  
(2004年秋)

1. 概況

富山県の景気は、足もと幾分テンポを緩めつつも、着実な回復を続けている。

最終需要面をみると、個人消費は持ち直しの動きが続いているほか、設備投資も前年を上回る計画となっている。住宅投資も前年を上回って推移している。一方、公共投資は引続き減少している。

製造業の生産動向をみると、主力の電気機械がこれまでの増勢基調から高水準横這いに転じてきているため、全体として増勢テンポは鈍化してきている。

雇用・所得面では、有効求人倍率をはじめ着実な改善を続けている。

先行きについては、原油・素材価格上昇やIT関連の在庫調整の影響など懸念材料はあるものの、引続き回復基調を辿るものとみられる。

本件に関するお問い合わせは下記までお願いします。

日本銀行富山事務所

〒930-0046 富山市堤町通り1-2-26 北陸銀行本店内

Tel : 076-424-4471、Fax : 076-494-1158

## 2. 個人消費

個人消費をみると、百貨店・スーパーの売上高は前年を下回ったものの、乗用車販売に持ち直しの動きがみられるほか、デジタル家電販売も堅調を維持しており、全体でも持ち直しの動きが続いている。

7～9月の県内の百貨店・スーパーの売上高についてみると、前半は季節商品が好調だったものの、後半は、厳しい残暑から秋物衣料の動きが鈍かったこともあり、前年を下回った（7～9月：既存店前年比 2.6%、全店同 0.5%）。10月入り後は、台風による客足の鈍化はみられたが、秋物衣料が動き始めたほか、一部の先での優勝セール効果もあって、全体では幾分回復傾向にある。

乗用車新車登録台数（含む軽）をみると、4～6月は新型車の投入が端境期にあったことなどから低調に推移してきたが、7～9月は、普通車や小型車で新型車の投入が相次いだことなどから、全体では前年比+1.2%と03/1～3月以来、6四半期振りに前年を上回った。

7～9月の家電販売をみると、猛暑効果からエアコン等が堅調だったほか、アテネ五輪需要などからデジタル家電も好調な売れ行きを示し、全体でも堅調に推移した。足もとでは、パソコン販売は引き続き低調なもの、地上波デジタル放送が開始（10/1日）されたこともあって、薄型TVなどで順調な売れ行きを維持しており、全体でも堅調に推移している。

宇奈月温泉の宿泊客数は、夏場から秋口にかけて猛暑や台風の影響等から一時的に落ち込んだ（7～9月：前年比 3.3%）。その後、足もと（10月以降）の予約状況は、需要喚起策（無料電車運行、長時間滞在プラン）等もあって堅調に推移している。

- ・ 10月の台風23号や新潟県中越地震の影響から、予約のキャンセルが発生している模様。

### 3 . 住宅投資

新設住宅着工戸数は、持家、貸家を中心に前年を上回って推移している（7～9月：前年比+27.9%）。

年度上半期累計（4～9月）をみると、前年比+12.7%と5年振りの増加となった。

### 4 . 設備投資

設備投資動向をみると、非製造業では運輸で前年の大型投資の反動減がみられるものの、製造業では非鉄金属、金属製品の増加計画に加え、ここへきて一般機械でも投資額の一段の上積みを図る先がみられることから、全産業では上方修正され、前年を上回る計画となっている。

県内機械商社に対して幅広い業種から受注・引合いが続いており、先行きについても、総じて高水準横這いで推移するとみられる。

### 5 . 公共投資

公共投資は、引続き減少している（公共工事請負額：4～10月：前年比9.1%）。

富山県の投資的経費予算をみても、9月補正後ベースで前年を6.0%下回っている。

## 6. 生産

県内製造業の生産動向をみると、一般機械が旺盛な内外需を背景に増勢を持続し、化学も主力の医薬品を中心に緩やかに増加している。一方、電気機械では主力の電子部品が携帯電話向け、デジタル家電向けの減速を背景として、高水準横這いで推移しており、全体では増勢テンポは鈍化してきている。

先行きについても、電気機械の弱含みを主因に、増勢テンポがさらに鈍化する見込み。

### 主要業種の生産動向

<p>金属製品 (アルミ建材)</p>	<p>主力の住宅向けが住宅着工の底固さや新製品の投入もあって堅調な動きとなっているほか、ビル向けも分譲マンションや工場向けを中心に底固く推移している。</p> <p>先行きについても、堅調に推移する見込み。</p>
<p>電気機械</p>	<p>電源装置は旺盛な国内設備投資を背景に増勢を幾分拡大している。一方、主力の電子部品（システムLSI、IC、抵抗器等）は、携帯電話向け、デジタル家電向けともに減速しており、全体では、これまでの増勢基調から高水準横這いに転じている。</p> <p>先行きについては、主力の電子部品が内外の年末商戦向け受注の出足の鈍さもあって弱含むとみられ、全体でも横這い圏内で推移する見込み。</p>
<p>化学</p>	<p>塩化ビニールは国内需要の低迷等から引続き弱含んでいるが、苛性ソーダが横這い圏内で推移するなかで、主力の医薬品がOEM（相手先商標生産）製品の受注増などから増加基調を辿っており、全体でも緩やかに増加している。</p> <p>先行きについても、主力の医薬品を中心に緩やかに増加する見込み。</p>
<p>一般機械</p>	<p>工作機械が、旺盛な内外需を背景に、増加基調を辿っているほか、工具、軸受も自動車関連メーカー向けを中心に増勢を持続していることから、全体でも増勢が持続している。</p> <p>先行きについても、増勢を持続する見込み。</p>
<p>鉄鋼・非鉄</p>	<p>特殊鋼、タングステンでは、旺盛な内外需に対して、フル生産体制を維持している。</p> <p>先行きについても、増勢を持続する見込み。</p>

## 7. 雇用・所得

雇用・所得環境は、着実な改善を続けている。

有効求人倍率（季調済）は、02/1～3月をボトムに期を追って改善を続けており、足もと（9月）では、4ヶ月連続で1倍を上回った（7～9月：1.03倍）ほか、常用雇用指数も増加傾向（7～8月：前年比+2.3%）にある。

名目賃金指数は、前年を下回って推移した（6～8月：前年比3.0%）。

この結果、雇用者所得全体で見れば下げ止ってきている。

## 8. 企業倒産

企業倒産（負債総額10百万円以上）についてみると、7～10月は倒産件数、負債金額とも前年比大幅に減少した（倒産件数：前年41件 本年21件<前年比 48.8%>、負債金額：前年18,151百万円 今年3,349百万円<同81.5%>）。

年初来累計（1～10月）でも、倒産件数、負債金額とも減少している（倒産件数：前年比 23.1%、負債金額：同 18.0%）。

## 9. 預金・貸出金

実質預金は、個人預金における他の預かり資産へのシフトや公金預金の減少もあって、低調に推移している（9月前年比 2.8%）。

貸出は、個人向けが住宅ローンを中心に高い伸びを続けているものの、法人向けが前年を下回ったことから、全体では前年を僅かに下回った（同0.1%）。なお、法人向けの資金需要については、このところ幾分持ち直しの方向にある。

以上

# 主 要 金 融 経 済 指 標

## 1. 実体経済関連指標

(前年比 %)

	百貨店+スーパー売上高			乗用車新車登録台数				温泉宿泊客数
	富山県		全 国	富山県		全 国	宇奈月温泉	
	(既存店)	(全 店)	(既存店)	除く軽	除く軽			
2001 年	-7.4	-4.5	-3.0	-0.4	-0.5	-0.3	-0.1	-7.4
2002 年	-4.4	5.7	-2.2	-0.1	-0.5	0.0	-0.9	-4.1
2003 年	-5.4	3.8	-3.2	-2.0	-2.7	-1.6	-1.8	0.9
2003/ 4 - 6 月	-6.7	8.6	-3.4	-5.7	-5.0	-5.3	-3.8	-8.7
7 - 9 月	-6.2	-1.4	-4.2	-3.4	-4.4	-4.1	-4.1	3.6
10 - 12 月	-3.8	-4.6	-3.2	-4.0	-9.7	-3.6	-7.7	7.3
2004/ 1 - 3 月	-0.3	-2.2	-2.2	-1.7	-7.3	1.8	-2.1	14.8
4 - 6 月	r -2.5	-2.5	-3.9	-3.7	-8.5	-3.3	-6.8	19.1
7 - 9 月	P -2.6	P -0.5	P -3.4	1.2	-0.1	2.3	1.9	-3.3
2003/ 9 月	-2.8	-3.5	-5.5	-0.1	-0.9	-2.9	-2.1	-0.0
10 月	-2.2	-3.0	0.3	2.8	-3.9	0.7	-4.9	5.7
11 月	-6.8	-7.5	-5.6	-8.1	-13.5	-9.0	-11.3	13.7
12 月	-2.6	-3.3	-4.0	-7.1	-12.2	-1.9	-6.5	1.7
2004/ 1 月	-1.2	-3.0	-2.0	-1.7	-7.2	4.2	1.0	-3.4
2 月	0.6	-1.4	0.5	-3.0	-10.7	-0.0	-3.9	23.9
3 月	-0.0	-2.1	-4.7	-1.0	-5.5	1.8	-2.5	24.5
4 月	-3.7	-4.2	-3.3	-6.3	-11.7	-0.4	-4.5	28.1
5 月	-2.6	-1.7	-3.5	-8.1	-14.6	-6.3	-11.1	19.3
6 月	r -1.0	r -1.0	r -5.0	2.5	-0.4	-2.8	-4.7	12.9
7 月	-0.3	1.6	-1.5	-2.5	-4.4	1.2	0.2	1.1
8 月	-5.0	-2.8	-5.4	5.2	7.6	4.2	4.7	-10.0
9 月	P -2.4	P -0.3	P -3.4	2.4	-0.4	2.2	1.8	2.0
10 月	n.a.	n.a.	n.a.	-9.2	-6.4	-5.3	-3.8	n.a.
資料出所	中部経産局		経産省	富山県自動車販売店協会他		日本自動車販売協会連合会他		宇奈月温泉旅館協同組合

(前年比 %)

	新設住宅着工戸数					建築着工床面積		公共工事請負額				
	富山県				全 国	富山県	全 国	富山県			全 国	
	持家	貸家	分譲					国	県	市町村		
2001 年	-6.8	-22.7	30.8	7.2	-4.6	-35.4	-19.2	-10.7	2.8	-17.7	1.7	-7.8
2002 年	-12.9	-2.9	-25.7	-21.0	-1.9	-3.1	-5.7	-13.5	-0.3	-15.2	-11.6	-7.2
2003 年	-1.8	-3.5	9.1	-37.9	0.8	-19.4	2.7	-15.5	-8.8	-12.3	-12.5	-13.7
2003/ 4 - 6 月	-7.2	4.0	-19.1	-66.2	2.2	34.9	0.6	-26.1	26.9	-18.5	-10.2	-13.0
7 - 9 月	-0.5	-3.0	4.2	-7.0	-0.6	-22.2	8.5	-0.8	-21.4	3.3	-8.7	-7.3
10 - 12 月	0.8	-12.0	25.2	-21.1	3.2	-8.7	0.5	2.4	99.1	-27.4	-7.7	-16.9
2004/ 1 - 3 月	5.6	3.7	2.5	61.5	5.4	18.0	18.2	-33.4	-42.6	-21.4	-32.3	-18.8
4 - 6 月	-0.3	-7.8	8.9	2.3倍	-3.7	76.5	8.5	-7.2	-53.0	-3.0	-8.5	-10.4
7 - 9 月	27.9	14.9	63.6	3.8	9.4	12.5	13.3	-10.9	17.6	-12.0	-10.1	-12.4
2003/ 9 月	-17.9	-2.3	-50.0	2.3倍	1.2	-53.2	11.0	7.2	-8.2	19.0	-17.2	-6.9
10 月	15.0	-10.9	42.6	3.1倍	1.0	-5.1	-3.1	13.2	3.0倍	-38.3	33.4	-14.4
11 月	-5.3	-18.4	47.6	-71.6	-0.3	-46.0	-9.9	7.7	35.2	36.0	-39.5	-23.0
12 月	-6.5	-5.2	1.9	-50.0	9.4	43.7	17.6	-16.6	59.5	-34.1	-22.5	-14.1
2004/ 1 月	34.9	32.3	31.5	83.3	7.3	-6.4	9.2	-5.8	4.1倍	-14.6	-26.3	-16.6
2 月	-42.3	-15.0	-71.1	14.3	1.9	1.3	15.7	-12.0	59.8	22.3	-29.5	-10.5
3 月	35.6	5.1	2.3倍	2.2倍	6.9	82.5	28.8	-41.7	-52.1	-30.0	-38.0	-22.7
4 月	22.4	5.3	32.4	11.5倍	-4.1	3.0倍	13.0	18.9	62.4	13.0	-20.1	-8.8
5 月	0.4	1.7	-6.6	15.8	0.9	75.1	-1.1	-26.7	-85.5	18.2	-13.6	-23.2
6 月	-17.5	-23.3	-0.9	-13.6	-7.4	15.7	12.8	-11.9	-39.9	-19.7	3.6	-2.2
7 月	22.3	13.8	29.8	2.3倍	7.8	-18.6	8.6	-7.5	19.3	20.6	-6.9	-20.6
8 月	20.2	13.8	67.4	-23.8	10.5	9.5	22.4	-19.4	-52.7	-12.3	-22.5	-2.6
9 月	44.2	17.3	2.4倍	-3.7	10.1	85.1	9.5	-7.4	50.4	-24.4	5.8	-11.4
10 月	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	-8.1	-17.6	-22.0	4.5	n.a.
資料出所	国 交 省					国 交 省		東 日 本 建 設 業 保 証 (株) 他				

1. 建築着工床面積・・・2003年3月までは建築着工統計の旧分類による非居住用の鉱工業用、商業用、サービス業用の合計。  
同4月からは、新分類による全建築物計から居住用を差引いたものを掲載。なお、2003年の計数は新分類によるもの。
2. 公共工事請負額・・・「年」の計数は年度ベース。
3. Pは速報値、rは訂正値を示す（以下、同じ）。

(前年比%)

	鉱工業生産指数								有効求人倍率 [季調済・倍]		新規求人数		
	富山県							全国		富山県	全国		
	季調済	電気機械	一般機械	金属製品	化学	季調済	富山県	全国					
2001年	-5.4		-1.1	-14.5	0.4	-6.4	-6.8		0.63	0.59	-5.7	1.5	
2002年	4.2		27.9	-7.1	-6.0	9.5	-1.3		0.57	0.54	-1.9	0.6	
2003年	4.8		10.4	13.8	-4.3	5.9	3.3		0.75	0.64	15.5	12.0	
2003/ 4-6月	4.5	-1.4	6.2	-6.5	-6.1	16.5	2.2	-0.4	0.68	0.61	6.5	9.5	
7-9月	2.0	0.4	1.6	27.8	-5.7	-1.3	1.0	1.0	0.77	0.64	18.0	12.2	
10-12月	1.1	0.6	6.5	10.4	-3.2	-5.1	4.1	3.9	0.90	0.73	25.4	16.0	
2004/ 1-3月	3.8	2.5	-0.2	26.1	-2.1	7.0	6.8	0.5	0.92	0.77	15.7	16.7	
4-6月	3.2	0.1	6.1	40.6	2.3	-6.1	7.4	2.6	0.97	0.80	17.1	13.9	
7-9月	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	P 6.2	P -0.8	1.03	0.83	9.6	11.8	
2003/ 9月	1.0	-4.2	9.2	44.4	-0.8	-25.6	4.0	3.7	0.81	0.67	27.6	17.8	
10月	-2.1	-1.3	3.8	-2.8	0.9	-17.2	3.9	1.1	0.85	0.70	21.5	15.9	
11月	1.1	4.5	8.4	13.7	-6.3	-3.2	2.8	1.3	0.90	0.73	20.1	12.1	
12月	4.6	1.4	7.6	20.6	-4.3	5.8	5.8	-0.6	0.94	0.77	37.9	20.7	
2004/ 1月	1.2	1.4	1.1	18.5	-9.0	3.5	5.3	2.9	0.96	0.77	18.0	16.2	
2月	-0.2	-4.8	-9.1	16.9	-1.5	2.0	6.7	-3.8	0.91	0.77	10.1	13.0	
3月	10.3	6.1	7.5	40.6	4.0	15.2	8.3	0.6	0.89	0.77	18.7	20.5	
4月	3.6	-1.8	-1.1	45.7	7.9	-2.5	8.7	3.5	0.93	0.77	21.8	15.2	
5月	-0.4	-1.1	8.8	48.0	-0.9	-20.5	4.6	0.8	0.98	0.80	7.4	5.5	
6月	6.3	1.3	10.6	29.9	0.2	4.6	8.9	-1.3	1.00	0.82	22.0	20.9	
7月	3.9	0.2	4.5	16.7	0.3	6.9	5.9	0.0	1.04	0.83	15.4	10.5	
8月	P 1.8	P -0.7	P 3.4	P 4.9	P 8.6	P -5.8	9.7	0.1	1.03	0.83	9.5	13.5	
9月	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	P 3.8	P -0.7	1.01	0.84	4.6	11.6	
10月	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	
資料出所	富山県							経産省		富山労働局	厚労省	富山労働局	厚労省

(前年比%)

	常用雇用指数		一人当り 名目賃金指数		所定外労働時間指数		消費者物価指数		企業倒産					
	富山県	全国	富山県	全国	富山県	全国	富山市	全国	倒産件数				負債総額	
									富山県 (件)	前年比	全国 (件)	前年比	富山県	全国
2001年	-2.1	-0.4	-0.7	-1.5	-10.5	-3.7	-1.4	-0.7	125	-17.7	19,164	2.1	-0.7	-30.8
2002年	-1.7	-0.7	-4.4	-2.9	-1.0	0.1	-1.1	-0.9	157	25.6	19,087	-0.4	2.3倍	-16.5
2003年	-4.4	-0.5	0.8	-0.8	6.3	4.8	-0.4	-0.3	114	-27.3	16,255	-14.8	-47.6	-15.9
2003/ 4-6月	-4.7	-0.6	4.3	0.6	-2.0	4.7	-0.3	-0.3	25	-30.5	4,328	-9.4	-75.5	-18.6
7-9月	-3.3	-0.5	-0.9	-1.7	11.6	3.6	-0.4	-0.2	35	-32.6	3,855	-19.0	4.0	-2.5
10-12月	-4.3	-0.3	-0.4	-1.3	10.4	4.7	-0.3	-0.3	16	-48.3	3,614	-21.1	0.6	-30.8
2004/ 1-3月	0.2	-0.1	-2.3	-1.7	17.0	3.3	-0.2	-0.1	34	-10.5	3,669	-17.6	81.4	-34.0
4-6月	1.8	0.4	-7.4	r -1.1	8.6	3.7	-0.6	-0.3	25	0.0	3,403	-21.3	63.2	-35.9
7-9月	n.a.	P 0.5	n.a.	P -0.2	n.a.	P 2.6	-0.2	-0.1	17	-51.4	3,310	-14.1	-83.2	-46.7
2003/ 9月	-3.4	-0.4	0.1	-0.1	9.6	3.1	-0.1	-0.2	11	-38.8	1,212	-17.3	-38.2	51.9
10月	-4.0	-0.3	1.2	-0.8	6.2	5.1	0.3	0.0	6	-40.0	1,368	-20.9	-27.1	-57.4
11月	-4.0	-0.3	1.1	-0.5	13.0	4.0	-0.6	-0.5	4	-63.6	1,114	-22.3	-54.6	70.9
12月	-5.1	-0.4	-1.8	-1.9	11.9	5.0	-0.5	-0.4	6	-40.0	1,132	-20.3	63.1	-36.8
2004/ 1月	0.5	-0.1	-1.3	-1.7	22.3	4.2	0.1	-0.3	14	-12.5	1,181	-18.2	-44.6	-62.3
2月	-0.4	-0.1	-0.1	-0.4	13.2	3.0	-0.1	0.0	8	0.0	1,159	-20.2	-21.7	-28.7
3月	0.5	-0.1	-5.4	-2.9	15.6	2.9	-0.5	-0.1	12	-14.2	1,329	-14.8	4.4倍	-10.6
4月	0.7	0.5	1.0	0.1	8.3	4.0	-1.0	-0.4	12	20.0	1,236	-17.3	-6.8	-11.6
5月	1.8	0.3	-1.6	-0.6	10.2	3.1	-0.7	-0.5	3	-66.6	1,089	-25.0	-48.2	-45.5
6月	2.7	0.4	-16.1	r -2.2	7.4	4.1	-0.1	0.0	10	66.6	1,078	-21.9	2.7倍	-54.8
7月	2.3	0.5	11.7	-0.4	9.8	4.0	-0.1	-0.1	5	-72.2	1,123	-18.4	-89.6	-17.4
8月	P 2.3	0.6	P -3.1	0.2	P 2.9	2.1	-0.5	-0.2	9	50.0	1,097	-13.3	-74.8	-55.5
9月	n.a.	P 0.5	n.a.	P -0.3	n.a.	P 2.0	0.0	0.0	3	-72.7	1,090	-10.0	-79.3	-56.6
10月	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	4	-33.3	n.a.	n.a.	-69.6	n.a.
資料出所	富山県	厚労省	富山県	厚労省	富山県	厚労省	富山県	総務省	東京商工リサーチ					

1. 鉱工業生産指数…季調済計数は、前月(期)比・%。

2. 常用雇用指数、一人当り名目賃金指数、所定外労働時間指数…事業所規模5人以上。年・四半期計数は当該期間の単純平均。

3. 消費者物価指数…四半期データは当該期間の単純平均。

4. 倒産件数、負債総額…対象は、負債総額1,000万円以上。

## 2 . 金融関連指標

(前年比 %)

	実質預金(未残)		貸出金(未残)	
	富山県	全 国	富山県	全 国
2003/ 9月	1.7	2.7	0.2	r -4.1
10月	1.5	2.2	0.2	r -5.3
11月	1.5	1.9	0.0	-5.2
12月	0.5	2.1	0.1	-5.2
2004/ 1月	0.7	2.0	0.6	-5.0
2月	0.2	1.7	-0.0	-4.5
3月	0.4	2.2	0.6	-3.8
4月	-0.3	1.3	0.9	-3.8
5月	-1.7	1.5	-0.4	-3.9
6月	-1.4	1.3	1.9	-4.0
7月	-0.9	1.3	2.3	-3.0
8月	-2.0	0.8	0.6	-3.3
9月	-2.8	0.9	-0.1	n.a.
10月	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
資料出所	日 本 銀 行 金 沢 支 店			

1. 実質預金は、国内銀行（銀行勘定）の計数。なお、実質預金は、表面預金から切手手形を除いた計数。
2. 貸出金は、国内銀行（銀行勘定、信託勘定および海外店勘定<国内向け>の合計）の計数。
3. 富山県は、富山県に所在する店舗における計数。